

2027年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月6日

上場会社名 株式会社放電精密加工研究所 上場取引所 東
 コード番号 6469 URL <https://www.hsk.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 村田 力
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員 情報開示担当（氏名） 中山 敦 TEL 045-277-0330
 半期報告書提出予定日 2026年10月9日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年3月1日～2026年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期中間期	8,636	21.6	1,132	83.7	1,076	88.2	732	113.3
2026年2月期中間期	7,101	19.3	616	270.2	571	314.4	343	325.0

（注）包括利益 2027年2月期中間期 591百万円（33.9%） 2026年2月期中間期 441百万円（75.6%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期中間期	68.53	—
2026年2月期中間期	32.14	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年2月期中間期	19,474	10,086	46.7	851.73
2026年2月期	19,017	9,688	45.7	813.23

（参考）自己資本 2027年2月期中間期 9,099百万円 2026年2月期 8,685百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	0.00	—	18.00	18.00
2027年2月期	—	0.00	—	—	—
2027年2月期（予想）	—	—	—	25.00	25.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2027年2月期の連結業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	17,067	19.2	1,832	63.2	1,715	65.2	1,151	39.9
								107.80

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年2月期中間期	10,953,900株	2026年2月期	10,953,900株
② 期末自己株式数	2027年2月期中間期	270,523株	2026年2月期	273,170株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2027年2月期中間期	10,681,663株	2026年2月期中間期	10,677,999株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページの「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	10
3. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2026年3月1日～2026年8月31日)におけるわが国経済は、円安傾向が続くなか、インバウンド需要が高水準で推移しました。加えて、雇用・所得環境の改善が見られ、国内景気の下支えとなりました。しかしながら、中東情勢の緊迫化に伴う影響や米国の関税政策の動向など、複雑化する世界情勢により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当中間連結会計期間における当社グループを取り巻く業界動向は、住宅分野および交通・輸送分野は各市場における需要の鈍化を背景に低調に推移いたしました。一方、AIの普及に伴う世界の電力需要の増加を受け、環境・エネルギー分野が伸長し、旅客や貨物需要の増加を背景とした航空機需要の増加および世界的な防衛力強化に向けた動きにより航空・宇宙分野も堅調に推移いたしました。

このような環境の中、当社グループにおきましては、伸長するガスタービン部品、航空機エンジン部品、防衛装備品の需要へ対応するとともに、生産能力拡大に向けた取り組みを進めてまいりました。

その結果、当中間連結会計期間における業績は、売上高は、8,636百万円(前年同期比21.6%増)となりました。利益につきましては、航空・宇宙関連におけるスケールメリットに加え、環境・エネルギー関連の高付加価値品の売上が増加したことにより収益性が向上し、営業利益は1,132百万円(同83.7%増)、経常利益は1,076百万円(同88.2%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は732百万円(同113.3%増)となりました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

なお、各セグメントの営業利益は、各セグメントに配賦することが困難な本社管理部門に係る営業費用等を控除する前のものであります。

①放電加工・表面处理

放電加工・表面处理は、航空・宇宙関連では、旅客や貨物需要の増加を背景とした航空機需要が高い水準を維持したことから、航空機エンジン部品は増収となりました。また安全保障強化に伴う防衛力整備計画の大幅な拡充により防衛装備品の需要が増加しました。環境・エネルギー関連では、高い電力需要に加え、ガスタービン部品において前年に能力増強した設備が段階的に生産を開始したことから増収となりました。その結果セグメント全体では、前年同期に比べ増収となりました。利益面では、航空・宇宙関連におけるスケールメリットに加え、環境・エネルギー関連の高付加価値品の売上が増加したことにより収益性が向上し、増益となりました。

その結果、売上高は6,173百万円(前年同期比27.2%増)、営業利益は1,469百万円(同46.7%増)となりました。

②金型

金型は、住宅関連では、建築コスト・住宅価格の高騰や金利上昇などを背景に住宅需要は低水準で推移したことから国内・海外ともに住宅用アルミ押出用金型の受注は前期並みとなりました。なお、海外子会社は為替影響(円安)を受け、売上が増加しました。交通・輸送分野では、セラミックスハニカム押出用金型において高付加価値品の需要が増加しました。その結果、セグメント全体では前年同期に比べ増収となりました。利益面では、セラミックスハニカム押出用金型で高付加価値品の売上が増加し増益となりました。

その結果、売上高は1,793百万円(同9.0%増)、営業利益は211百万円(同38.9%増)となりました。

③機械装置等

機械装置等は、機械設備関連ではプレス機の販売は減少したものの付帯設備の販売が増加し前期並みとなりました。一方、交通・輸送関連では自動車関連プレス部品の価格改定により増収となりました。その結果、セグメント全体では前年同期に比べ増収となりました。利益面では、成長事業の内製化に向けて経営資源の配分を見直すとともに、適正な価格改定を実施した結果、増益となりました。

その結果、売上高は669百万円(同11.1%増)、営業利益は152百万円(同163.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ255百万円増加し、8,330百万円となりました。その主な要因は、売掛金の増加132百万円、電子記録債権の増加166百万円によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ200百万円増加し、11,143百万円となりました。その主な要因は、土地の増加112百万円、建設仮勘定の増加161百万円、投資有価証券の減少147百万円によるものであります。

当中間連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ436百万円増加し、5,474百万円となりました。その主な要因は、電子記録債務の減少426百万円、短期借入金の増加616百万円、未払法人税等の増加257百万円によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ377百万円減少し、3,912百万円となりました。その主な要因は、長期借入金の減少217百万円、リース債務の減少136百万円によるものであります。

当中間連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ398百万円増加し、10,086百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加539百万円、その他有価証券評価差額金の減少98百万円、為替換算調整勘定の減少18百万円によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ10百万円増加し、2,564百万円となりました。

営業活動の結果獲得した資金は、655百万円(前年同期は1,551百万円の獲得)となりました。これは主に税金等調整前中間純利益1,075百万円、減価償却費464百万円、売上債権の増加298百万円、仕入債務の減少498百万円、その他の流動負債の減少83百万円によるものであります。

投資活動の結果使用した資金は、627百万円(前年同期は395百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出517百万円によるものであります。

財務活動の結果獲得した資金は、1百万円(前年同期は1,126百万円の使用)となりました。これは主に短期借入金の増加額(純額)700百万円、長期借入金の減少額(純額)300百万円、配当金の支払額192百万円、リース債務の返済による支出196百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年2月期の連結業績予想につきましては、

詳細につきましては、2026年10月6日に公表いたしました「2027年2月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正並びに期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当中間連結会計期間 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,738,751	2,746,391
受取手形	5,255	1,772
売掛金	2,744,448	2,876,619
電子記録債権	415,459	582,193
商品及び製品	13,699	16,584
仕掛品	1,472,624	1,388,646
原材料及び貯蔵品	591,262	616,566
未収入金	1,058	1,406
その他	92,081	100,307
貸倒引当金	△30	△32
流動資産合計	8,074,612	8,330,455
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,932,273	1,927,786
機械装置及び運搬具(純額)	1,592,200	1,549,682
土地	4,412,173	4,524,762
リース資産(純額)	1,858,836	1,869,536
建設仮勘定	73,007	234,627
その他(純額)	132,246	139,150
有形固定資産合計	10,000,738	10,245,546
無形固定資産		
ソフトウェア	65,397	58,501
その他	932	99,583
無形固定資産合計	66,330	158,084
投資その他の資産		
投資有価証券	680,683	533,408
繰延税金資産	33,282	34,020
その他	162,005	172,514
投資その他の資産合計	875,971	739,944
固定資産合計	10,943,040	11,143,575
資産合計	19,017,653	19,474,031

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当中間連結会計期間 (2026年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	632,614	558,643
電子記録債務	711,491	284,579
短期借入金	1,973,840	2,590,512
リース債務	374,613	480,645
未払法人税等	111,489	368,862
契約負債	7,411	1,093
賞与引当金	420,585	441,964
その他	805,979	747,874
流動負債合計	5,038,025	5,474,173
固定負債		
長期借入金	1,709,215	1,491,751
リース債務	1,508,572	1,371,914
繰延税金負債	82,040	24,293
退職給付に係る負債	789,803	827,420
資産除去債務	57,364	57,638
その他	143,918	139,907
固定負債合計	4,290,915	3,912,925
負債合計	9,328,940	9,387,099
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,889,190	1,889,190
資本剰余金	1,783,218	1,789,696
利益剰余金	4,084,889	4,624,586
自己株式	△182,695	△180,984
株主資本合計	7,574,603	8,122,488
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	413,398	314,614
繰延ヘッジ損益	6,857	8,772
為替換算調整勘定	263,830	245,403
退職給付に係る調整累計額	427,196	408,115
その他の包括利益累計額合計	1,111,283	976,906
非支配株主持分	1,002,825	987,537
純資産合計	9,688,712	10,086,932
負債純資産合計	19,017,653	19,474,031

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
売上高	7,101,295	8,636,492
売上原価	5,234,842	6,166,060
売上総利益	1,866,453	2,470,431
販売費及び一般管理費		
運搬費	44,015	59,842
給料	409,042	403,800
賞与引当金繰入額	106,994	124,792
退職給付費用	32,110	23,116
旅費及び交通費	47,690	56,225
減価償却費	38,657	42,483
研究開発費	12,481	24,643
その他	558,999	602,989
販売費及び一般管理費合計	1,249,993	1,337,894
営業利益	616,460	1,132,537
営業外収益		
受取利息	2,907	1,825
受取配当金	1,599	1,739
為替差益	—	2,179
受取賃貸料	1,519	1,542
受取割引料	51	2
その他	1,583	2,020
営業外収益合計	7,661	9,311
営業外費用		
支払利息	43,777	59,908
為替差損	5,992	—
その他	2,510	5,579
営業外費用合計	52,280	65,487
経常利益	571,840	1,076,361
特別利益		
固定資産売却益	108	162
補助金収入	20,000	—
特別利益合計	20,108	162
特別損失		
固定資産除却損	24,311	712
工場移転費用	11,149	—
特別損失合計	35,461	712
税金等調整前中間純利益	556,487	1,075,810
法人税等	196,783	332,640
中間純利益	359,704	743,170
非支配株主に帰属する中間純利益	16,461	11,106
親会社株主に帰属する中間純利益	343,243	732,064

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
中間純利益	359,704	743,170
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	161,220	△98,784
繰延ヘッジ損益	2,785	1,915
為替換算調整勘定	△79,702	△36,131
退職給付に係る調整額	△2,595	△19,081
その他の包括利益合計	81,707	△152,082
中間包括利益	441,412	591,088
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	464,005	597,686
非支配株主に係る中間包括利益	△22,592	△6,598

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	556,487	1,075,810
減価償却費	400,373	464,086
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	2
受取利息及び受取配当金	△4,506	△3,565
支払利息	43,777	59,908
有形固定資産売却損益(△は益)	△108	△162
売上債権の増減額(△は増加)	171,449	△298,581
棚卸資産の増減額(△は増加)	△12,630	54,388
仕入債務の増減額(△は減少)	289,966	△498,850
賞与引当金の増減額(△は減少)	34,721	21,379
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,989	12,752
固定資産除却損	24,311	712
補助金収入	△20,000	—
未払消費税等の増減額(△は減少)	44,190	35,500
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△45,620	△13,025
その他の流動負債の増減額(△は減少)	237,168	△83,963
その他	827	3,133
小計	1,726,394	829,525
利息及び配当金の受取額	4,494	3,552
利息の支払額	△44,062	△60,479
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△155,107	△117,072
補助金の受取額	20,000	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,551,718	655,525
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△383,590	△517,788
有形固定資産の売却による収入	1,792	162
投資有価証券の取得による支出	△1,216	△1,251
無形固定資産の取得による支出	△10,633	△108,581
定期預金の預入による支出	△30,000	△30,000
定期預金の払戻による収入	30,000	30,000
その他の支出	△11,505	△417
その他の収入	9,792	612
投資活動によるキャッシュ・フロー	△395,361	△627,264
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	4,200,000	5,400,000
短期借入金の返済による支出	△5,800,000	△4,700,000
長期借入れによる収入	1,000,000	—
長期借入金の返済による支出	△269,452	△300,792
自己株式の取得による支出	—	△78
配当金の支払額	△128,119	△192,253
非支配株主への配当金の支払額	—	△9,602
リース債務の返済による支出	△129,163	△196,004
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,126,735	1,269
現金及び現金同等物に係る換算差額	△40,533	△19,088
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△10,912	10,442
現金及び現金同等物の期首残高	2,425,302	2,553,999
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,414,389	2,564,441

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	放電加工・ 表面処理	金型	機械装置等	計		
売上高						
顧客との契約から生じる 収益	4,852,234	1,646,433	602,627	7,101,295	—	7,101,295
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,852,234	1,646,433	602,627	7,101,295	—	7,101,295
セグメント間の内部 売上高又は振替高	70	38,385	44,315	82,771	△82,771	—
計	4,852,304	1,684,818	646,943	7,184,066	△82,771	7,101,295
セグメント利益	1,002,043	152,208	58,069	1,212,321	△595,861	616,460

(注) 1. セグメント利益の調整額△595,861千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△596,152千円及びセグメント間取引消去291千円であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当中間連結会計期間よりセグメントの区分を変更しております。これは2025年3月より機械設備事業と混合溶融技術を軸とした環境事業を統合することで、双方の技術力を結集し、より高度な技術開発や製品開発等でシナジー効果を発揮する環境を整える目的で環境事業を主とする横浜工場を機械設備事業を主とする大和事業所に統合したことに伴い、従来「放電加工・表面処理」に計上しておりました環境事業の一部を、「機械装置等」セグメントの区分に変更しております。

当中間連結会計期間(自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	放電加工・ 表面処理	金型	機械装置等	計		
売上高						
顧客との契約から生じる 収益	6,173,240	1,793,937	669,313	8,636,492		8,636,492
その他の収益						
外部顧客への売上高	6,173,240	1,793,937	669,313	8,636,492		8,636,492
セグメント間の内部 売上高又は振替高	187	—	38,249	38,436	△38,436	
計	6,173,428	1,793,937	707,563	8,674,929	△38,436	8,636,492
セグメント利益	1,469,509	211,355	152,944	1,833,809	△701,272	1,132,537

(注) 1. セグメント利益の調整額△701,272千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△701,254千円及びセグメント間取引消去△17千円であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

前中間連結会計期間(2025年3月1日～2025年8月31日)

(単位:千円)

セグメントの名称	中間連結会計期間 (2025年3月1日～2025年8月31日)	
		前年同期比(%)
放電加工・表面処理	4,992,611	123.3
金型	1,706,595	103.6
機械装置等	485,390	84.5
合計	7,184,597	114.6

(注) 1. 上記金額は、販売価格によって表示しております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

当中間連結会計期間(2026年3月1日～2026年8月31日)

(単位:千円)

セグメントの名称	中間連結会計期間 (2026年3月1日～2026年8月31日)	
		前年同期比(%)
放電加工・表面処理	6,241,599	125.0
金型	1,793,318	105.1
機械装置等	608,736	125.4
合計	8,643,654	120.3

(注) 1. 上記金額は、販売価格によって表示しております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注状況

前中間連結会計期間(2025年3月1日～2025年8月31日)

(単位:千円)

セグメントの名称	中間連結会計期間 (2025年3月1日～2025年8月31日)	
		前年同期比(%)
放電加工・表面処理	5,277,284	133.3
金型	1,578,763	98.6
機械装置等	571,713	85.6
合計	7,427,761	119.3

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

当中間連結会計期間(2026年3月1日～2026年8月31日)

(単位:千円)

セグメントの名称	中間連結会計期間 (2026年3月1日～2026年8月31日)	
		前年同期比(%)
放電加工・表面処理	7,308,159	138.5
金型	1,757,237	111.3
機械装置等	612,003	107.0
合計	9,677,400	130.3

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

前中間連結会計期間(2025年3月1日～2025年8月31日)

(単位:千円)

セグメントの名称	中間連結会計期間 (2025年3月1日～2025年8月31日)	
		前年同期比(%)
放電加工・表面処理	4,852,234	130.3
金型	1,646,433	96.8
機械装置等	602,627	114.5
合計	7,101,295	119.3

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

当中間連結会計期間(2026年3月1日～2026年8月31日)

(単位:千円)

セグメントの名称	中間連結会計期間 (2026年3月1日～2026年8月31日)	
		前年同期比(%)
放電加工・表面処理	6,173,240	127.2
金型	1,793,937	109.0
機械装置等	669,313	111.1
合計	8,636,492	121.6

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。